

v2022 Update Flameリリース- TITAN2204G4 動作チェックリスト

バージョン: Flame2022 Update(Linux)		
チェック	チェック項目	備考
起動動作		
OK	ライセンス形態に変更はないか	
OK	アプリケーションが正常にインストールできるか	
OK	ライセンスを認識しアプリケーションが起動するか	
OK	stoneをマウントしているか (sw_df)	
OK	プロジェクト、ユーザーを新規作成できるか	
OK	HostComputerを認識しているか	
OK	別マシンのプロジェクトを参照、起動できるか	
I/O		
O	MediaHubよりクリップ(連番/Movieデータ)をキャッシュインポートできるか	DPX、ProRes 422 HQ
O	MediaHubよりクリップ(連番/Movieデータ)をバックグラウンドエクスポートできるか	DPX、ProRes 422 HQ
O	5994i VTR I/Oができるか	
O	別のプロジェクトから素材をインポート/エクスポートできるか	
アーカイブ/リストア		
OK	新規ファイルアーカイブができるか(プロジェクト/セレクション)	
OK	追記ファイルアーカイブができるか(セレクション)	
OK	ファイルアーカイブのリストアができるか(プロジェクト/セレクション)	
OK	新規LTOアーカイブができるか(プロジェクト/セレクション)	LTO-7 QUANTUM ULTRIUM-HH7
OK	追記LTOアーカイブができるか(セレクション)	LTO-7 QUANTUM ULTRIUM-HH7
OK	LTOアーカイブのリストアができるか(プロジェクト/セレクション)	LTO-7 QUANTUM ULTRIUM-HH7
OK	VTRアーカイブのリストアができるか(v2011のVTRアーカイブを使用)	アーカイブはv2016より不可
OK	Flame(Mac)のアーカイブデータが開けるか	MacFlame v2022 Update
プレビュー		
OK	HD 5994iのクリップをプレビューできるか	*2
OK	UHD(60p)のクリップをプレビューできるか	*2
OK	5994i HDMIプレビューが出ているか	
検証中	AJA IOプレビューで録音のずれがないか	*3
エフェクト		
OK	TimelineFXをローカルレンダリングできるか	CC、Blur、Action
OK	BatchFXをローカルレンダリングできるか	CC、Blur、Action
OK	Batchをローカルレンダリングできるか	CC、Blur、Action
検証中	TimelineFXをBurnレンダリングできるか	CC、Blur、Action
検証中	BatchFXをBurnレンダリングできるか	CC、Blur、Action
検証中	BatchをBurnレンダリングできるか	CC、Blur、Action
OK	TimelineFXをBackground Reactorでレンダリングできるか	CC、Blur、Action
OK	BatchFXをBackground Reactorでレンダリングできるか	CC、Blur、Action
OK	BatchをBackground Reactorでレンダリングできるか	CC、Blur、Action
OK	ノードセットアップをセーブ/ロードできるか	
OK	Batchセットアップをセーブ/ロードできるか	
OK	Iterationのセーブ/ロードができるか	
OK	SapphireSparksが使用できるか * 1	v7.5、v8、v9、v10、v11、v2019、v2019.5(Floating License)*2
OK	OFXプラグインが使用できるか	SapphireOFX2021
互換性		
OK	下位バージョンが起動できるか	v2020.3.2 2021.2.2
OK	下位バージョンのアーカイブが開けるか(ファイル)	v2019.2.3 v2020.3.1 2021.2.1
検証中	下位バージョンのアーカイブが開けるか(LTO)	v2020.3.2 2021.2.2
OK	下位バージョンのプロジェクトをコンバートできるか	v2020.3.2 2021.2.2
OK	下位バージョンのプロジェクトからクリップが読み込めるか	v2020.3.2 2021.2.2

*1 P4000では2つ以上つなげるとしばしばクラッシュする。P6000では問題なし。

*2 再生中にドロップすることがある(FLME-52224 : Cannot playback clip without drops using certain xorg.conf lines)

*3 リップシンクがずれることがある(SMOK-48772 : AJA : broadcast audio delay is unstable)

* レンダリング、再生用検証クリップの尺は10分とする。

* Preferred Format: Uncompressed / RAW

* アーカイブ検証データ(5Gほど)TFX BFX Batchデータ込

[レンダリング検証マシン]

```

Workstation Manufacturer : CIARA TECHNOLOGIES
Workstation Model       : Titan 240G4
Redhat version          : CentOS Linux release 7.8.1810 (Core)
Kernel version          : 3.10.0-957.27.2.el7.x86_64
Kernel architecture    : 64bits

```

```

Total CPUs: 48
Model: Intel(R) Xeon(R) Gold 6136 CPU @ 3.00GHz
Speed: 3000 MHz
Cache Size: 25344 KB
Main Memory Size: 128341 MB
Physical Memory: 128 GB

```

```

Nvidia card information, Model: Quadro RTX 6000

```